

姫路市内で「フェモラータオオモモプトハムシ」を発見

横野 翔¹⁾・宮下直也²⁾

夏休みに入って昆虫採集をしていたら、お母さんが「翔、この虫って何?」と、玄関の近くにいる虫を指さしていた。見てみるとピカピカ光る後ろ足の太い体長2cmほどの昆虫がいて、「モモプトハムシ」だと、すぐにわかった。今まで実物は見たことがなかったから、捕まえて観察して学研の図鑑 LIVE (岡島, 2014) で調べることにした。

姫路市安富町三森, 23. VII. 2024, 筆者確認

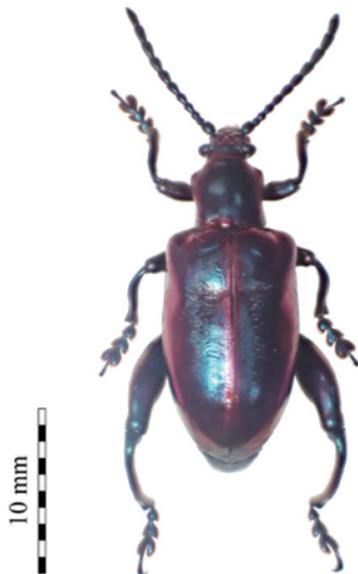


図1. フェモラータオオモモプトハムシ標本 (2024年7月24日採取).

飼育ケースに入れて観察して図鑑で調べたら外来種の「フェモラータオオモモプトハムシ」ということがわかった。図鑑によると、コウチュウ目ハムシ科・東南アジアからの移入種で本州に分布し、クズの茎を食べるとあったので、次の日の24日に家の近くのクズの群落に逃がした。

24日のお昼ごろに姫路科学館に自由研究で質問したいことがあったから、「フェモラータオオモモプトハムシ」についても聞いた所、兵庫県ではたつの市 (荻田, 2019) や宍粟市 (三木, 2017)、宝塚市 (佐用町昆虫

館オフィシャルブログ) などで見つかっているけど姫路市ではまだ見つかった報告はないと言われて、逃がしてしまったことを後悔した。

24日午後2時過ぎ

姫路科学館から帰ってきた僕は、午前中に「フェモラータオオモモプトハムシ」を逃がした場所を探した。すると、朝逃がしたものよりは小さいけど1匹き発見することができた (図1, 2)。お母さんに頼んでもう一度科学館に連れて行ってもらい確認してもらおうとやっぱり「フェモラータオオモモプトハムシ」だったので、僕は姫路市で初の発見者ということになった。

科学館で標本管理してもらおうため預けて帰宅後、もう一度付近を探してみると、新たに2匹きを発見する



図2. フェモラータオオモモプトハムシ生体 (2024年7月24日採取).

ことができた。この2匹きについては、標本作りに挑戦してみることにした。同じ場所で3匹が見つかったことから、この辺りはすでに定着していると思った。僕の自由研究は、林田川流域の「フェモラータオオモモプトハムシ」の定着地域を調べることにした。

7月24日から31日

さっそく25日から「フェモラータオオモモプトハムシ」を探した。一週間毎日同じぐらいの時間 (朝7時半から8時) に探しに行くことにした。科学館の人か

¹⁾ Kakeru YOKONO 姫路市立安富南小学校4年; ²⁾ Naoya MIYASHITA 姫路科学館

ら川沿いのクズの茎にいる可能性が高いと教えてもらったので、家の近くにある林田川沿いのクズを調べることにした。

探索場所は8か所(図3, 図4)。

- ① 林田川西の中国自動車道南側(安志)
- ② 林田川西の中国自動車道北側(安志)
- ③ 林田川西県道23号南側(安志)
- ④ 林田川西(安志)
- ⑤ 林田川東(三森)
- ⑥ 林田川東の中国自動車道南側(三森)
- ⑦ 林田川東の中国自動車道北側(三森)
- ⑧ 林田川上流(名坂)

表1. フェモラータオオモモトハムシ発見数.

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	発見数
7月24日	0	0	0	0	0	3	0	0	3
7月25日	0	0	0	0	0	3	0	0	3
7月26日	0	0	0	0	0	2	1	0	3
7月27日	0	0	0	0	0	0	2	1	3
7月28日	0	0	0	0	6	0	1	0	7
7月29日	0	0	0	0	2	0	0	0	2
7月30日	0	0	0	0	3	0	3	0	6
7月31日	0	0	0	0	2	0	0	0	2
発見数	0	0	0	0	13	8	7	1	29



図3. 探索場所(姫路市安富町安志及び三森).



図4. 探索場所(姫路市安富町名坂).

一週間探索してみて

一週間探した結果、29ひき発見して25ひき捕まえることができた(表1)。はじめはクズの全体を探していたけど、何日かすると「フェモラータオオモモトハムシ」がいる場所が似ていることに気づいた。古いクズの茎のコブの周りやコブの近くの葉のかげにいたが多かった(図5)。一番多く見つけたのは、⑤の林田川東のクズだった。林田川の西側はクズもあったけど、「ウマノズクサ」の方が多く「フェモラータオオモモトハムシ」を見つけることはなかった。川の北側は立ち入ることが出来るクズのある場所が上流になったけど1ひき見つけることができた。今回調べてみて⑤⑥⑦はすでに定着していることがわかった。

今回見つけた「フェモラータオオモモトハムシ」は、4匹標本にした(図6)。のこりは寿命がくるまで責任をもって飼育したい。

えさはクズの茎と葉とコウチュウ目なのでカブトムシ用の昆虫ゼリーを入れている。すると昆虫ゼリーに多

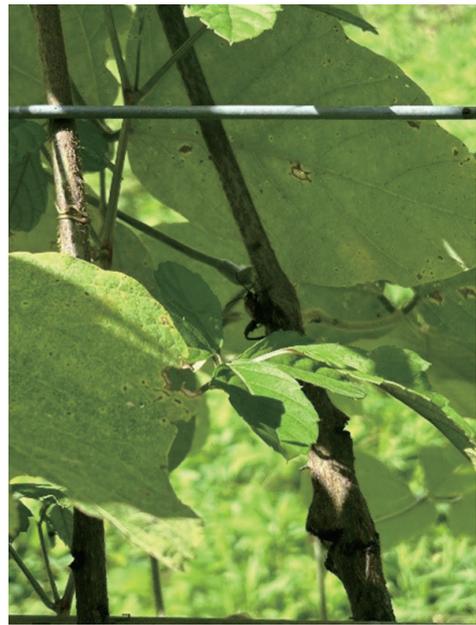


図5. クズの茎にいるフェモラータオオモモトハムシ(2024年7月28日撮影).



図6. 完成した標本(2024年8月16日撮影).

くの「フェモラータオオモモプトハムシ」が集まっていた(図7).

参考文献

- 岡島秀治(監修), 2014. 学研の図鑑 LIVE 昆虫, 学研プラス, 東京, 272pp.
- 三木進, 2017. 兵庫県宍粟市でフェモラータオオモモプトハムシ. きべりはむし, 39 (2): 72 - 73.
- 苅田悟史, 2019. 兵庫県たつの市でフェモラータオオモモプトハムシを発見. きべりはむし, 41 (2): 51.
- 佐用町昆虫館オフィシャルブログ, 2020年6月18日掲載, 2023年5月1日更新, 「ふえもらん」をさがせ!! フェモラータ, 兵庫県で続々と. <https://www.konchukan.net/blog/?p=1434> (参照 2024年8月4日).
- 地理院地図 Vector, <https://maps.gsi.go.jp/vector/> (参照 2024年8月4日).



図7. 昆虫ゼリーを食べるフェモラータオオモモプトハムシ (2024年7月30日撮影).